

1 税金は何に使われているの？

わたしたちが納めた税金は、だれもが豊かで安全に安心してくらししていくために、いろいろなかたちで使われています。

わたしたちのくらしのなかで、税金がどのように役立てられているのか見ていきましょう。

税金は身近なところで使われています



○ごみの収集にも

衛生的な生活を送れるように、ごみの収集や処理を行っています。



○毎日通る道に

安全に通勤や通学ができるように、道路や信号を整備しています。



○学校生活の中でも

だれもが等しく教育を受けられるように、教科書が無償で支給されています。校舎や給食センターなどの公共施設も整備しています。



○文化的なくらしのために

好きな本を読んだり、調べものをしたりするために、地域ごとに図書館を整備しています。



○安全なくらしのために

安全に安心して生活を送れるように、警察や消防などの公共サービスは、昼も夜もわたしたちのくらしを守っています。



【公共施設ってなに？】

公共とは「みんな」、施設とは「建物や設備」のことです。

図書館や公園、学校など、みんなのために税金を使ってつくられた建物などをいいます。

【公共サービスってなに？】

ごみの収集や処理、安全を守る警察や消防など、わたしたちの生活に欠かすことができないもので国や県・市町村が行うサービスのことです。

【公立学校の児童・生徒一人当たり、どのくらいの税金が使われているの？】 豆知識 ①

小学生のみなさんが勉強するために、1年間に約94万1千円の税金が使われています。

税金で負担する公立学校の児童・生徒一人当たりの年間教育費（令和4年度）		
小学生 約94万1千円	中学生 約108万6千円	高校生（全日制） 約112万7千円
		
1か月当たり 約7万8千円	1か月当たり 約9万1千円	1か月当たり 約9万4千円



ほかに公共施設や公共サービスはどのようなものがあるかな？

社会保障

社会保障は、子ども・子育て、医療、介護、年金などにかかる費用の負担をみんなで分かち合い、支え合う制度です。これらの費用のほかに、障がい者の生活支援やバリアフリーのまちづくりなどにも税金が使われています。



子ども・子育て

子どもを生み・育てやすくするために、幼稚園や保育所を整備します。

また、それらに無償で通えるように、保育料についても税金が使われています。



医療

病気になったり、けがをしたりして病院で治療をしてもらうと、お金がかかります。

かかった金額の一部には、税金が使われています。



介護

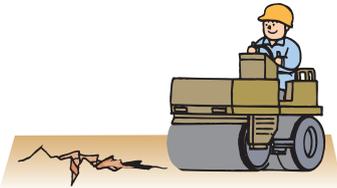
年をとって体が思うように動かなくなったときなど、介護サービスを利用したときにかかる金額の一部には、税金が使われています。



年金

老後も安心して暮らしていくために、国から受けとるお金（年金）の一部には、税金が使われています。

自然災害からの復旧や復興



台風や地震などの自然災害によって壊れた道路や橋などを直したり、被災した地域を再び元気にするために、税金が使われています。

地域の開発や活性化



地域住民の希望を取り入れながら、地域の実態に応じたまちづくりや環境整備が行われています。

道路や公園などの公共施設のためだけではなく、自然環境や歴史文化の保護のためにも、税金が使われています。

【知っていますか？】

みなさんの身近なところでは、教科書の裏表紙に「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と印刷されています。

また、小惑星「リュウグウ」から石を持ち帰った探査機「はやぶさ2」などの宇宙開発費用にも多くの税金が使われています。



豆知識②

国や県・市町村では、税金をいろいろなことに使っています。

国の税金の使いみち（8ページの「国の予算」参照）

国の税金は、わたしたち国民が、より豊かで安全に安心してくらししていくために使われています。また、世界で生活に苦しむ人々への援助や、宇宙開発などの明るい未来のためにも使われています。国では、国民のくらしに関することのほか、外国との交渉や国を守ることなど、国のために必要な、幅広い仕事を行うために税金を使っています。

【わたしたちの健康や生活を守るために】



【写真提供：神奈川県立がんセンター】

【橋や道路などまちの整備のために】



【教育のために（教科書の無償支給など）】



【科学技術の発展のために（宇宙開発など）】



【写真提供：JAXA/NASA】

【災害復旧・復興のために】



【写真提供：防衛省ホームページ】

【海外援助のために】



【写真提供：JICA】

県・市町村の税金の使いみち (8ページの「神奈川県予算」参照)

県・市町村は、高齢者や障がい者への援助、警察や消防、ごみの収集など住民の生活に欠かせない身近なことに税金を使っています。

これら県・市町村が活動するための費用は、地方税(5ページの「税金の種類」参照)と国から交付されたお金などでまかなわれています。

【高齢者や障がい者のくらしを支えるために】



【きれいなまちにするために】



【安全や安心を守るために】



【火災から守るために】



◆ 神奈川県民一人当たりの1年間に使われる県の予算 ◆



令和7年度の当初予算を人口で割ったらこうなるよ。

<p>【教育費】 教育のために (学校、図書館や博物館など)</p> <p>約4万5千円</p>	<p>【民生費】 福祉や子育てのために</p> <p>約4万円</p>	<p>【警察費】 県民の安全な生活を守るために</p> <p>約2万3千円</p>
<p>【衛生費】 健康を守るために</p> <p>約2万6千円</p>	<p>【土木費】 道路・公園の整備やまちづくりのために</p> <p>約1万4千円</p>	<p>神奈川県人口は約922万人だよ。</p> <p>(令和7年8月現在) 「神奈川県人口統計調査」より</p>